



【みなと隆介の近況】

先週は多くの「赤旗」読者の皆様や後援会員様へご挨拶にうかがいました。お忙しい中お時間を割いていただき、本当にありがとうございます。もちろん地域を案内される各地の党員の力添えもあってこそです。とはいえ短時間ではやはり政治や地域の課題、日本共産党への要望などを十分にお聞きすることができません。

29日の加島での集いの様子



【みなと隆介の視点】

28日、大阪市会本会議で、2025年の大阪万博パビリオンの建築費を74億円から15億円へ増額する予算案が維新、公明、自民の賛成で決されました。前々号でご案内したあのパビリオンです。これが自分の家計であればこんな簡単に決めるものだろうかと、憤りの思いでいっぱいです。公園や道路の整備、小学校体育館へのエアコン整備など、大阪市負担分の20億円でそれだけのことができることが。カジノ誘致にかかる788

億円や万博のためだけの仮設道路にかかる数十億円もそうですが、維新・公明が主導する議会では、市民の税金の無駄遣いが止められません。

市民の納めた税金は市民生活やお商売、子どもたちの応援のために使う。そんな当たり前の政治の実現のために頑張ります。

25日新大阪駅北口での朝の宣伝



みなと隆介の  
生い立ち③



アメリカから1991年に帰国。6月頃から宮崎市立西池小学校に通い出しました。宮崎市内中心部にあり、生徒数1000人を超える学校でした。「考える葦」という、パスカルの言葉を含む校歌は今でも覚えています。

写真左(一部加工しています)



5年生、6年生と放送委員を担当。朝の放送、昼の放送、半期に一度程度の校長先生の校内テレビでの放送と考えれば色々やっています。「善行児童表彰」なんてものもありました。その当時は「全校児童表彰」と勘違いしてましたが、

(次回に続く)